



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 タカタ株式会社

コード番号 7312 URL <http://www.takata.com>

代表者 （役職名）代表取締役会長 （氏名）高田 重久

問合せ先責任者 （役職名）執行役員経理・財務本部長 （氏名）野村 洋一郎 TEL 03-3582-9228

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年3月期第3四半期	406,325	36.4	21,459	95.8	21,172	76.5	8,803	31.8
25年3月期第3四半期	297,797	7.7	10,961	31.6	11,993	62.3	6,677	△11.4

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 29,292百万円（113.0％） 25年3月期第3四半期 13,754百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	105.86	ー
25年3月期第3四半期	80.29	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
26年3月期第3四半期	444,510	180,864	40.3	2,155.31
25年3月期	385,772	154,085	39.5	1,832.10

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 179,238百万円 25年3月期 152,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	15.00	ー	15.00	30.00
26年3月期	ー	15.00	ー		
26年3月期（予想）				ー	ー

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	540,000	30.0	27,000	86.3	26,000	52.5	11,500	ー	138.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（平成26年2月6日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名）ー、除外 ー 社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	83,161,700株	25年3月期	83,161,700株
26年3月期3Q	398株	25年3月期	356株
26年3月期3Q	83,161,343株	25年3月期3Q	83,161,349株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在入手可能な情報、仮定並びに判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の経営環境の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な雇用と消費を背景に景気回復基調が続き、欧州では不確実性は残るものの、長期の景気低迷に底打ちの兆しが見え、下半期にかけて回復に転じました。また、アジアでは中国がやや減速するも高成長を維持、タイ、インド等では減速に転じたものの、アジア全体としては総じて堅調に推移しました。一方、日本経済は、日銀による大規模な金融緩和や政府が打ち出した経済対策の効果もあり、株高や円安が進行し、景気は回復基調を維持しました。自動車産業におきましては、北米、中国等で引き続き自動車生産は増産となり、欧州や日本でも下半期にかけて回復基調となりました。

このような状況下、当企業グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、全地域で前年同期から増収となり、また更に円安が進行したこともあり、4,063億25百万円（前年同期比36.4%増）と増収になりました。また、主に増収による増益で営業利益は214億59百万円（前年同期比95.8%増）、経常利益は211億72百万円（前年同期比76.5%増）となりました。また、四半期純利益は88億3百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

セグメント別の業績に関しましては、以下の通りであります。

① 日本

日本におきましては、上半期こそ震災復興需要やエコカー補助金で高水準であった前年と比較すると減少したものの、下半期は景気回復や消費税増税前の需要増等の影響で自動車生産高が回復基調となり、当社売上高は829億39百万円と前年同期比10.0%の増収となりました。また、営業利益は、主に増収による増益と合理化による経費削減が貢献し、60億5百万円と前年同期比9.9%の増益になりました。

② 米州

米州におきましては、引き続き堅調な経済情勢下で自動車生産、販売とも増加したことや為替の円安影響もあり、当社売上高は1,773億45百万円と前年同期比38.9%の増収になりました。また営業利益は、メキシコでの人件費や経費増加という減益要因があったものの、増収による増益と円安効果を含む材料費低減が寄与し、22億69百万円と前年同期比28.1%の増益になりました。

③ 欧州

欧州におきましては、依然として債務危機の影響は残るものの、下半期にかけて自動車生産が回復基調に転じたこと、また為替の円安影響もあり、当社売上高は1,125億60百万円と前年同期比38.8%の増収になりました。また営業利益は、増収による増益に加えて固定費削減が進み、24億63百万円となりました（前年同期は7億3百万円の損失）。

④ アジア

アジアにおきましては、タイやインドで景気減速により下半期にかけて自動車生産が減少したものの、中国やその他アジア各国では増産傾向が継続しました。当社売上高は中国で増収となったことや為替の円安影響もあり、1,049億46百万円と前年同期比59.9%の増収になりました。また営業利益は、増収による増益に加えて円安効果を含む材料費低減や合理化による経費削減が寄与し、108億38百万円と前年同期比133.2%の増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、4,445億10百万円と、前期末に比して587億37百万円の増加となりました。これは主に、前期末比で円安が進んだことによる外貨建資産の為替換算額の増加によるものであります。負債につきましては、同期間末で2,636億45百万円と、前期末に比して319億58百万円の増加となりました。資産と同様、主に前期末比で円安が進んだことによる外貨建負債の為替換算額の増加によるものであります。

純資産につきましては、88億3百万円の四半期純利益を計上し、円安が進んだことによる為替換算調整勘定の増加もあり、全体として前期末比267億79百万円増加の1,808億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の修正については、本日（平成26年2月6日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,217	106,047
受取手形及び売掛金	86,763	102,160
有価証券	5,494	3,680
たな卸資産	57,724	64,239
その他	27,885	35,239
貸倒引当金	△2,786	△3,700
流動資産合計	263,299	307,666
固定資産		
有形固定資産	87,822	94,566
無形固定資産	5,753	5,729
投資その他の資産	28,896	36,547
固定資産合計	122,472	136,843
資産合計	385,772	444,510
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,194	44,409
短期借入金	22,608	26,528
コマーシャル・ペーパー	2,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	11,538	8,882
未払法人税等	3,227	4,300
製品保証引当金	46,909	48,290
その他	32,262	38,552
流動負債合計	152,740	172,963
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	32,132	37,473
繰延税金負債	12,180	16,260
退職給付引当金	10,502	12,370
役員退職慰労引当金	507	538
その他	3,623	4,039
固定負債合計	78,946	90,681
負債合計	231,687	263,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,862	41,862
資本剰余金	42,328	42,328
利益剰余金	89,663	95,972
自己株式	△0	△0
株主資本合計	173,853	180,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,619	7,710
繰延ヘッジ損益	△247	70
為替換算調整勘定	△25,490	△7,062
在外子会社の年金債務調整額	△1,374	△1,641
その他の包括利益累計額合計	△21,493	△923
少数株主持分	1,725	1,626
純資産合計	154,085	180,864
負債純資産合計	385,772	444,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	297,797	406,325
売上原価	247,873	339,444
売上総利益	49,924	66,880
販売費及び一般管理費	38,963	45,421
営業利益	10,961	21,459
営業外収益		
受取利息	466	570
受取配当金	230	655
特別退職金減額益	—	599
その他	1,422	517
営業外収益合計	2,119	2,342
営業外費用		
支払利息	822	718
為替差損	—	1,438
その他	264	470
営業外費用合計	1,086	2,628
経常利益	11,993	21,172
特別損失		
事業再編損	145	—
米国反トラスト法関連損失	—	7,013
特別損失合計	145	7,013
税金等調整前四半期純利益	11,848	14,159
法人税等	5,235	5,504
少数株主損益調整前四半期純利益	6,612	8,655
少数株主損失(△)	△64	△147
四半期純利益	6,677	8,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,612	8,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	2,090
繰延ヘッジ損益	△18	317
為替換算調整勘定	7,203	18,495
在外子会社の年金債務調整額	10	△266
その他の包括利益合計	7,142	20,636
四半期包括利益	13,754	29,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,751	29,373
少数株主に係る四半期包括利益	2	△80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	49,487	118,276	76,446	53,587	297,797	—	297,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,914	9,384	4,676	12,029	52,005	△52,005	—
計	75,401	127,661	81,123	65,617	349,803	△52,005	297,797
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,464	1,772	△703	4,646	11,180	△219	10,961

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△219百万円には、セグメント間取引消去△164百万円、及びのれん償却△54百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各報告セグメントに属する主な国は、下記のとおりであります。

米州・・・米国、ブラジル、メキシコ

欧州・・・ドイツ、オランダ、ルーマニア、ポーランド、チェコ

アジア・・・中国、フィリピン、タイ、韓国、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	53,484	166,131	106,255	80,454	406,325	—	406,325
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,455	11,213	6,305	24,492	71,467	△71,467	—
計	82,939	177,345	112,560	104,946	477,792	△71,467	406,325
セグメント利益	6,005	2,269	2,463	10,838	21,577	△117	21,459

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△117百万円には、セグメント間取引消去△63百万円、及びのれん償却△54百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各報告セグメントに属する主な国は、下記のとおりであります。

米州・・・米国、ブラジル、メキシコ

欧州・・・ドイツ、オランダ、ルーマニア、ポーランド、チェコ

アジア・・・中国、フィリピン、タイ、韓国、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。